

島根県の経済動向

平成24年7月分

統 第 9 7 号 の 6
平成24年 9月28日

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、 全体としては横ばい傾向にある一

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きが続いている。個人消費は一部に持ち直しがみられるものの横ばい圏内の動きが続いている。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	→	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.1となり、前年同月比は6.1%と2か月ぶりに前年を上回った。大口電力需要実績は▲1.0%と8か月連続で前年を下回った。 生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	→	～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～	有効求人倍率は0.95倍と前月と同水準、新規求人数は8.2%と2か月ぶりに前年を上回った。所得面では、現金給与総額、きまって支給する給与は、それぞれ3か月ぶりに前年を下回った。 雇用情勢は、厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きが続いている。
個人消費	→	～一部に持ち直しがみられるものの横ばい圏内の動き～	大型小売店販売額は▲2.6%と4か月連続で、ホームセンター販売額は▲0.9%と2か月連続で、家電量販店販売額は▲14.3%と12か月連続でそれぞれ前年を下回った。新車登録台数は37.9%と10か月連続で前年を上回った。 個人消費は、一部に持ち直しがみられるものの横ばい圏内の動きが続いている。
投資動向	→	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は▲46.8%と2か月連続で前年を下回ったが、公共工事請負金額は10.7%と2か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数は▲43.8%と4か月ぶりに前年を下回った。 投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	→	～倒産件数5件～	企業倒産件数は5件。うち建設業は1件、製造業は0件。
金融情勢	→	～貸出金残高は対前年2.4%増～	銀行預金残高は49か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は23か月連続で前年を上回った。
物 価	→	～対前年0.3%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.2となり、対前年同月比0.3%と3か月ぶりの上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成24年9月28日公表）		CI先行指数は77.0となり、4か月連続で下降となった。 CI一致指数は104.2となり、2か月ぶりに上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成24年9月11日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（24年7～9月期）は▲13.7%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 〔先行きについては、翌期（10～12月期）に「上昇」超に転じ、翌々期（25年1～3月期）は「下降」超となる見通しとなっている。〕

経済指標	前年同月比（*を除く）%						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	92.4	92.9	94.2	92.9	94.4	94.1
	〃（原指数）	0.9	▲3.0	▲0.6	1.9	▲0.3	6.1
	大口電力需要実績	▲2.8	▲3.1	▲0.3	▲1.5	▲2.7	▲1.0
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.91	0.95	1.00	1.07	0.95	0.95
	新規求人数	4.6	13.8	13.9	19.2	▲5.2	8.2
	常用労働者数	▲0.4	▲1.1	▲1.1	▲1.2	▲1.9	▲2.6
	現金給与総額	▲0.8	▲1.6	▲0.1	0.8	8.0	▲8.8
	きまって支給する給与	▲0.9	▲0.5	▲0.2	0.5	2.0	▲0.1
	所定外労働時間（製造業）	▲8.5	▲16.6	▲21.5	▲20.7	▲13.9	▲9.9
個人消費	大型小売店販売額	▲2.1	4.3	▲3.8	▲1.1	▲1.5	▲2.6
	ホームセンター販売額	▲0.8	▲9.6	5.3	2.0	▲0.7	▲0.9
	家電量販店販売額	▲17.3	▲22.4	▲10.2	▲28.2	▲36.3	▲14.3
	乗用車新車登録台数	28.3	63.2	105.9	65.0	32.6	37.9
	出雲空港利用者数	3.0	26.1	23.4	17.2	10.2	12.2
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	37.7	▲20.1	78.5	0.8	▲24.3	▲46.8
	公共工事請負金額	32.9	▲19.4	12.2	59.0	▲26.4	10.7
	新設住宅着工戸数	36.1	▲14.3	12.0	32.4	15.7	▲43.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	7	7	3	2	0	5
	* 負債総額（百万円）	2,056	980	50	103	0	216
金融情勢	銀行預金残高	1.3	3.1	0.9	0.8	2.4	0.6
	銀行貸出金残高	1.8	1.6	1.3	2.2	2.8	2.4
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.9	100.4	100.2	100.1	99.8	100.2
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	80.8	89.6	83.2	80.2	77.1	77.0
	* 景気動向指数（CI一致指数）	88.1	90.9	101.1	105.8	96.6	104.2

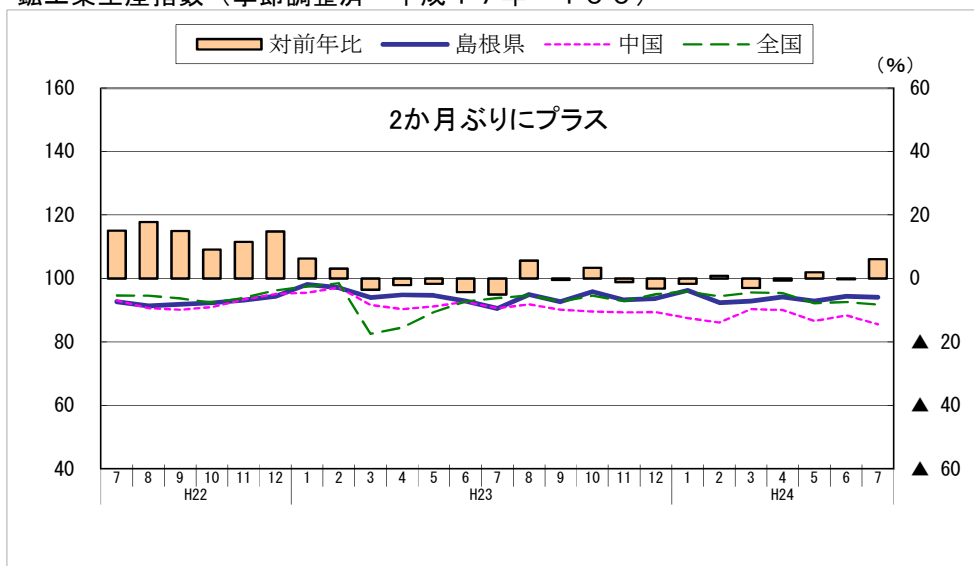
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成24年9月14日
	<p>景気は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産、輸出は、弱含んでいる。 ・ 企業収益は、持ち直しているが、頭打ち感がみられる。設備投資は、一部に弱い動きもみられるものの、緩やかに持ち直している。 ・ 企業の業況判断は、大企業を中心に小幅改善となっている。 ・ 雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。 ・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きがみられる。 ・ 物価の動向を総合してみると、下落テンポが緩和しているものの、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、当面は弱めの動きも見込まれるものの、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待される。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、収益や所得の動向、デフレの影響等にも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成24年9月20日
	<p>～ 横ばいながらも一部に弱い動き ～</p> <p>中国地域の経済は、生産は横ばいながらも弱含み、個人消費は弱含みなど、引き続き横ばいながらも一部に弱い動き。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…横ばいながらも弱含み 2. 景況感…やや弱含み 3. 産業用電力需要…減少 4. 物価…下落 5. 個人消費…弱含み 6. 設備投資…持ち直しの動き 7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は減少 8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き 9. 企業倒産…件数は増加、負債額は減少 10. 貿易…輸出、輸入ともに減少
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2012年9月3日
	<p>山陰両県の景気は、持ち直しに向かう動きもみられるが、横ばい圏内で推移している。すなわち、生産は、一部に操業度を引き上げた状態となっている中、全体としてはなお横ばい圏内で推移している。個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、下げ止まっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。住宅投資は引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。この間、雇用・所得情勢は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きもみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、一部で操業度を引き上げた状態となっている中、全体としてはなお横ばい圏内で推移している。 ・ 個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。 ・ 設備投資は、緩やかに持ち直している。 ・ 公共投資は、下げ止まっている。 ・ 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。 ・ 雇用・所得情勢は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きもみられる。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2012年8月28日
	<p>設備投資は回復しているものの、生産は横ばいで推移し、公共投資は低水準で推移するなど、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、水準は低いながらも底打ちの兆しがうかがえる。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観6月）。 ・ 住宅建設は、一進一退の動きとなっている。 ・ 個人消費は、一部で底入れの兆しがうかがえるものの、総じて低調な推移となっている。 ・ 生産は、電気機械関連の一部で低水準となっているものの、総じて横ばい圏内での推移となっている。 ・ 雇用情勢は、島根県は回復傾向が続いている。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともにやや悪化したことから、全産業でやや悪化(▲14→▲17)となった。先行きについては、製造業、非製造業ともにやや慎重な見方(全産業▲17→▲18)となっている。(日銀短観6月)。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成24年7月26日（四半期ごとに公表）
	<p>～ 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 底堅く推移している ・ 生産活動 おおむね横ばいとなっている ・ 雇用情勢 厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられる ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 24年度は増加見通し ・ 企業収益 24年度は増益見通し

経済指標の推移

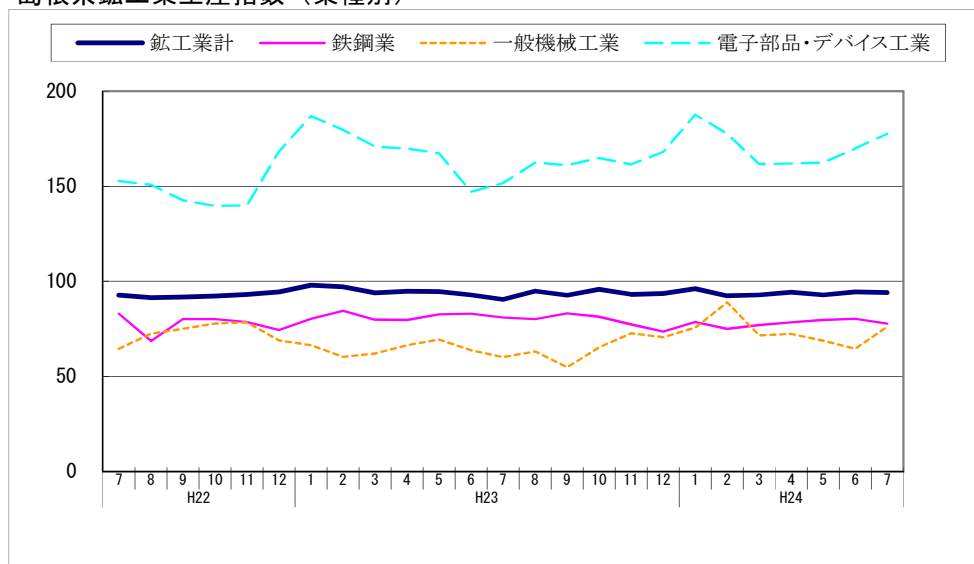
【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



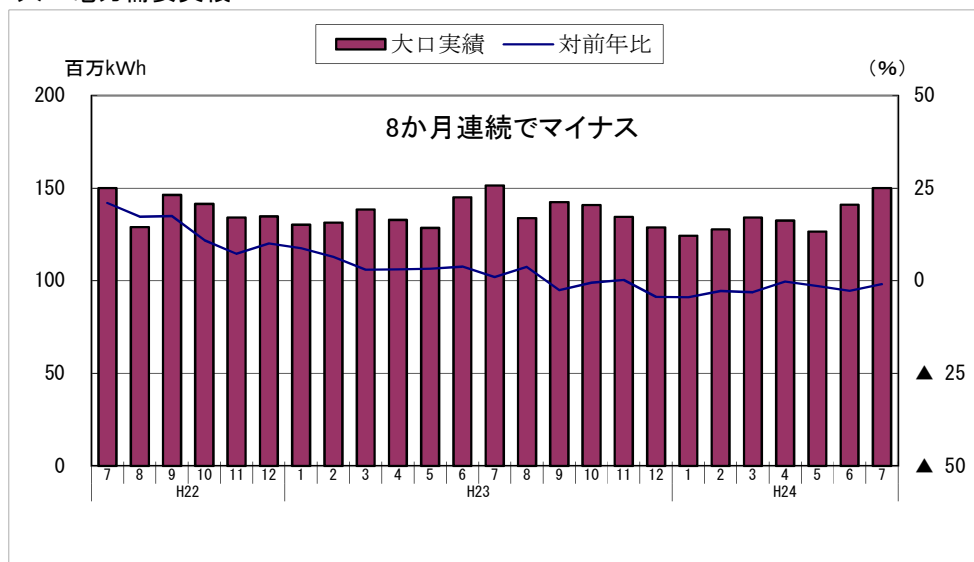
(注) 対前年比は、島根県の実指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

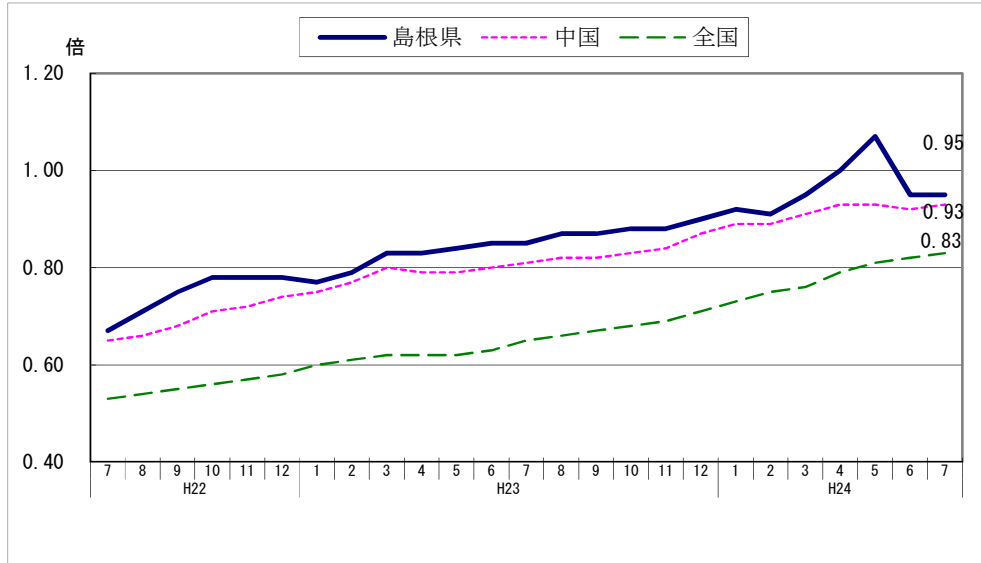
大口電力需要実績



(中国電力株)

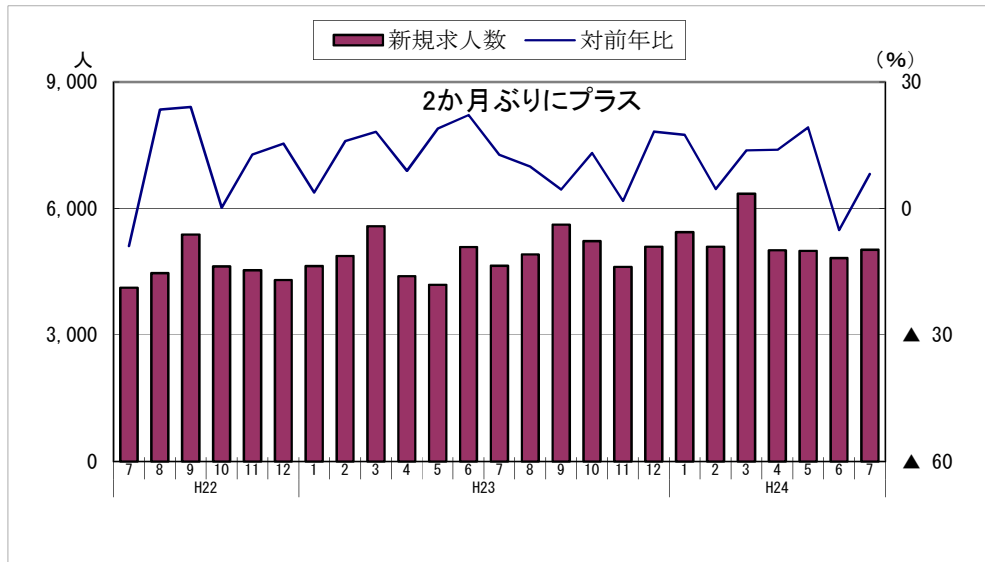
【雇用情勢】 ～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



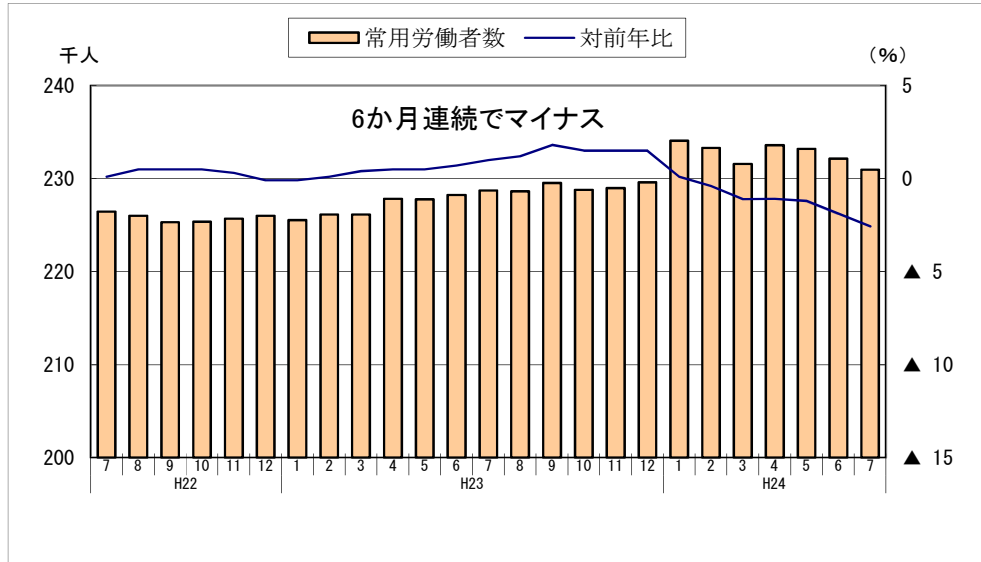
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

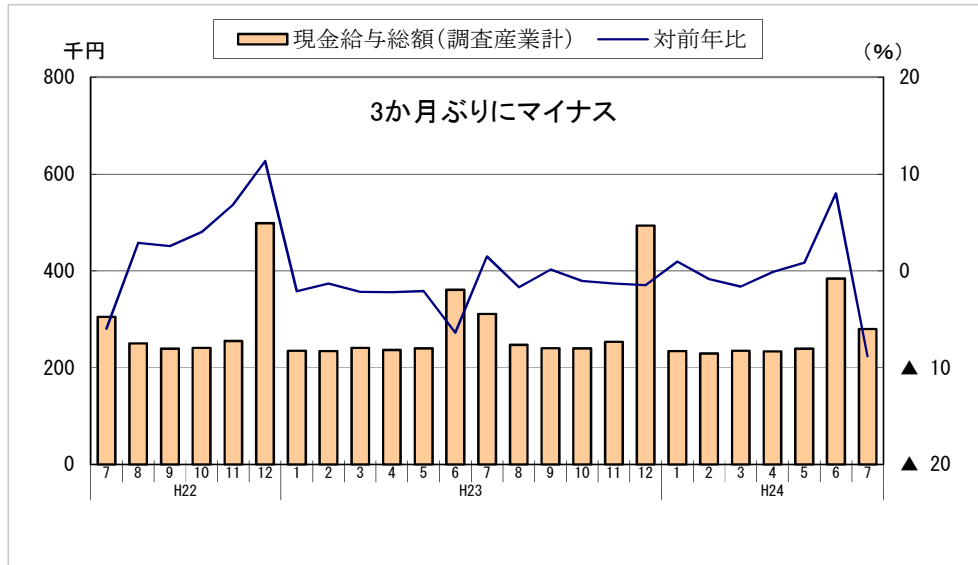
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

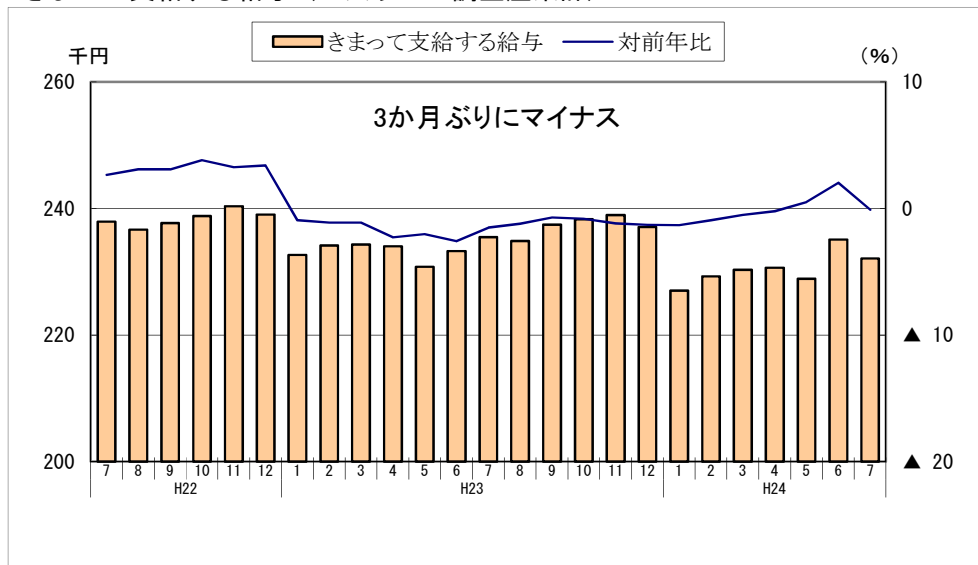
【雇用情勢】 ～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



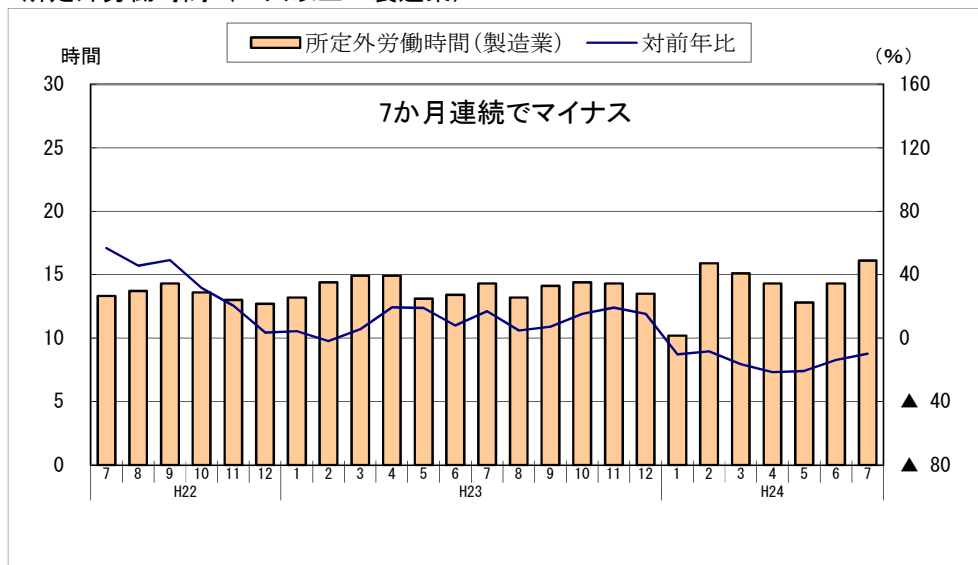
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

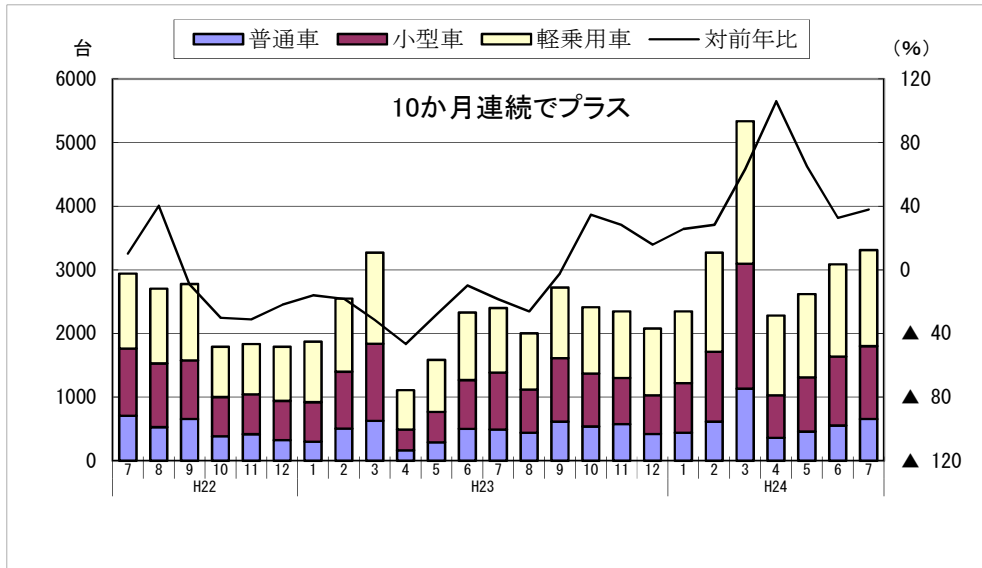


(県統計調査課)

【 個人消費 】

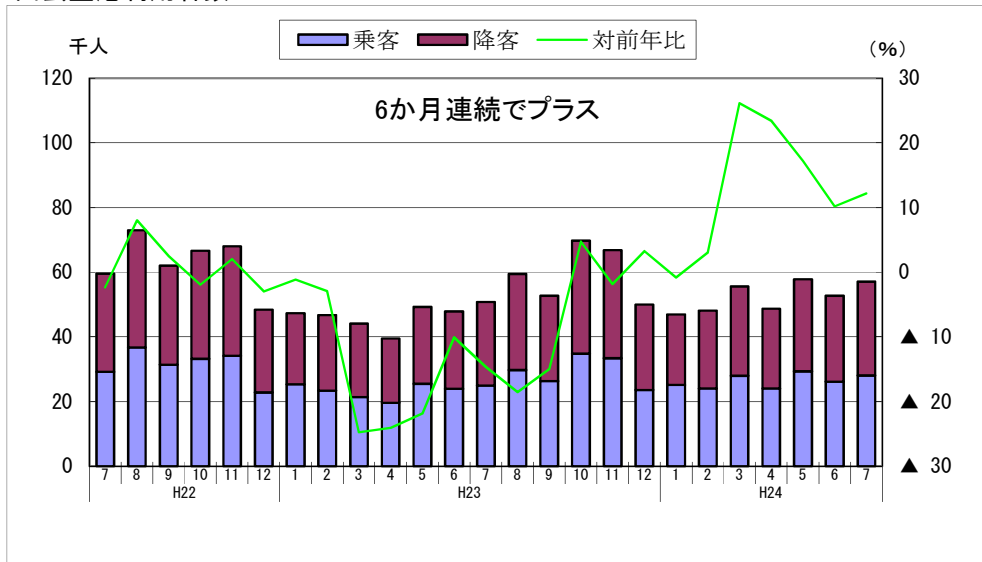
～一部に持ち直しがみられるものの横ばい圏内の動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

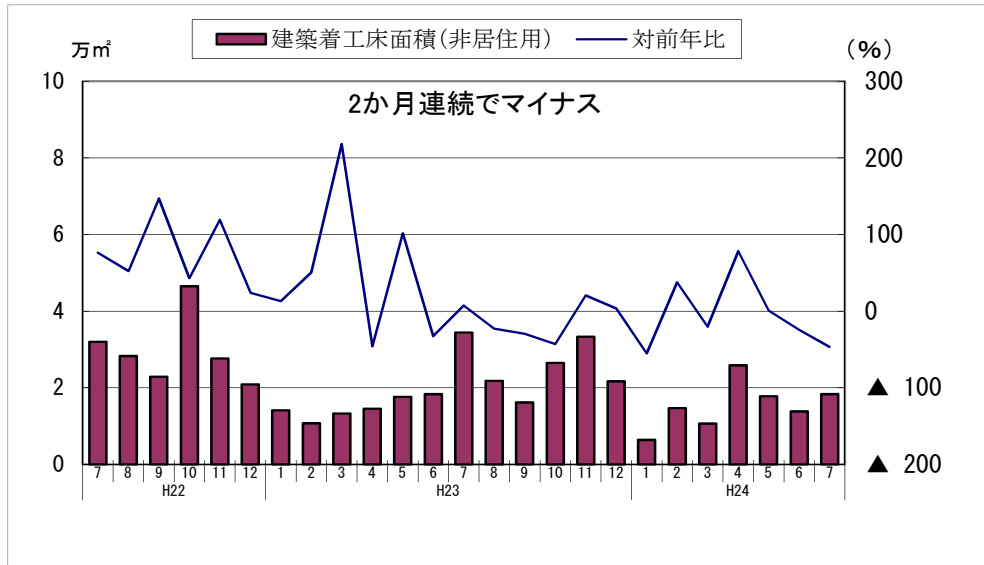
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

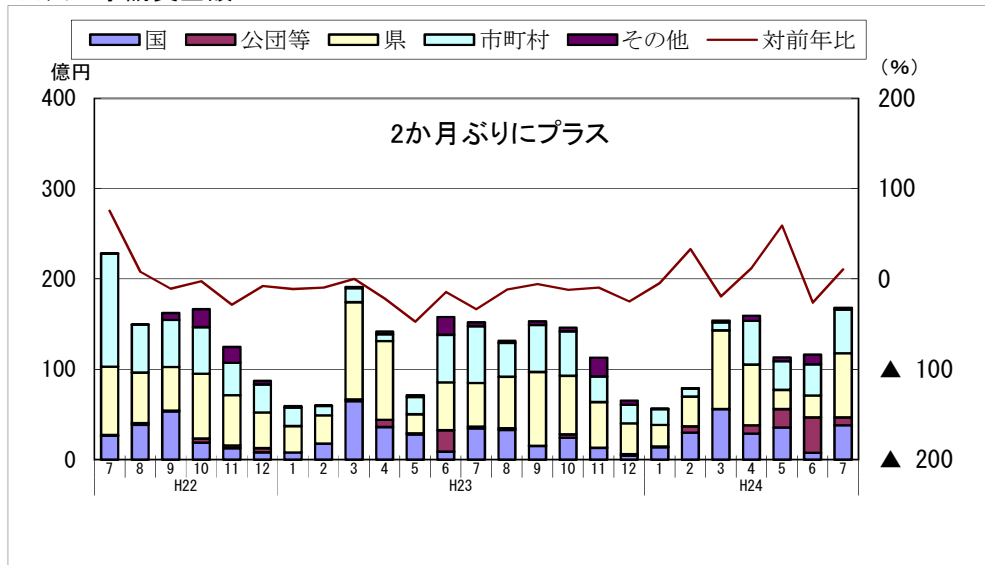
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



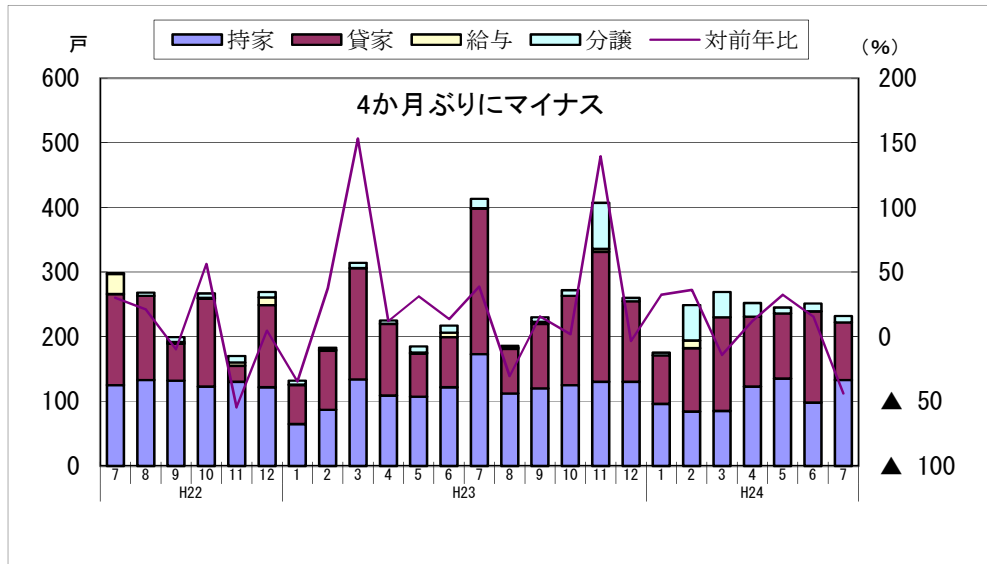
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

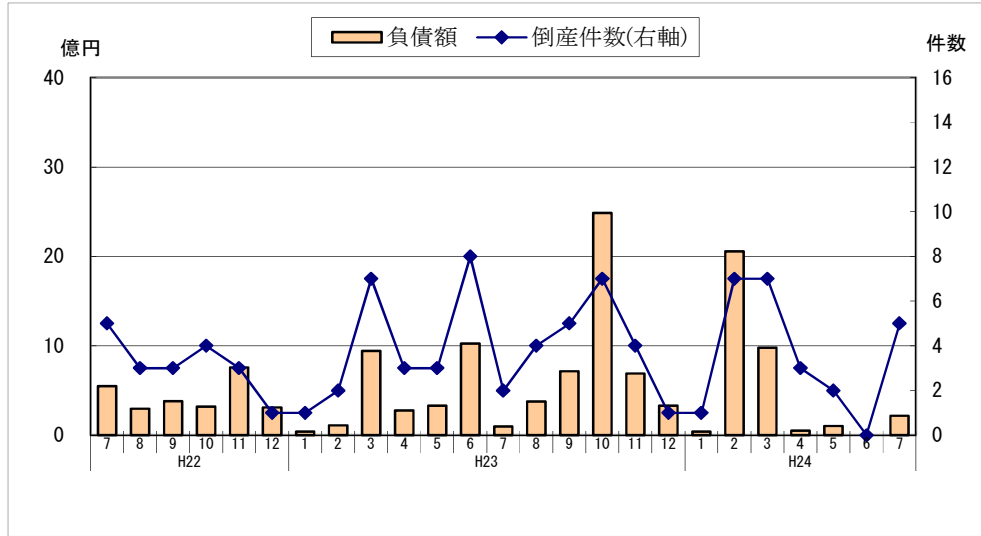
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 5 件～

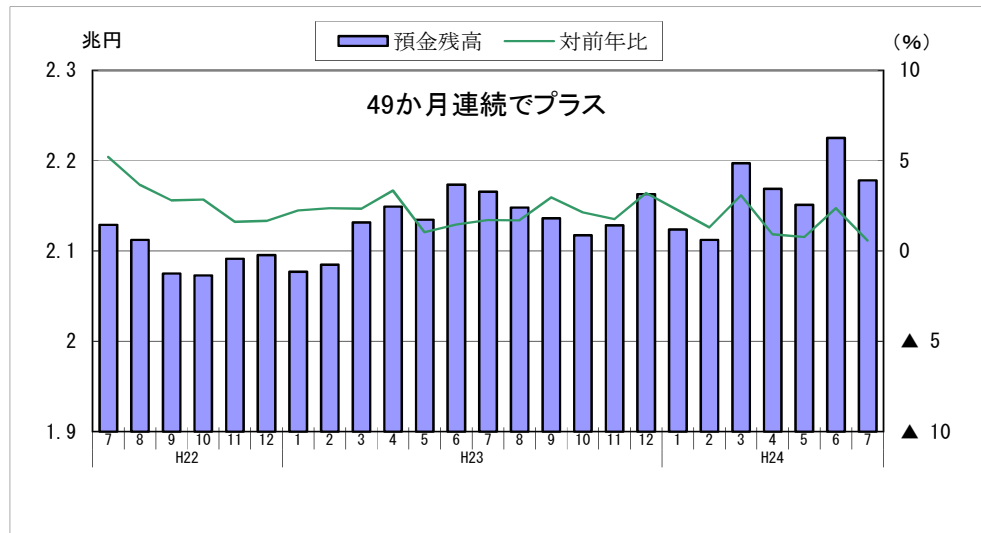
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

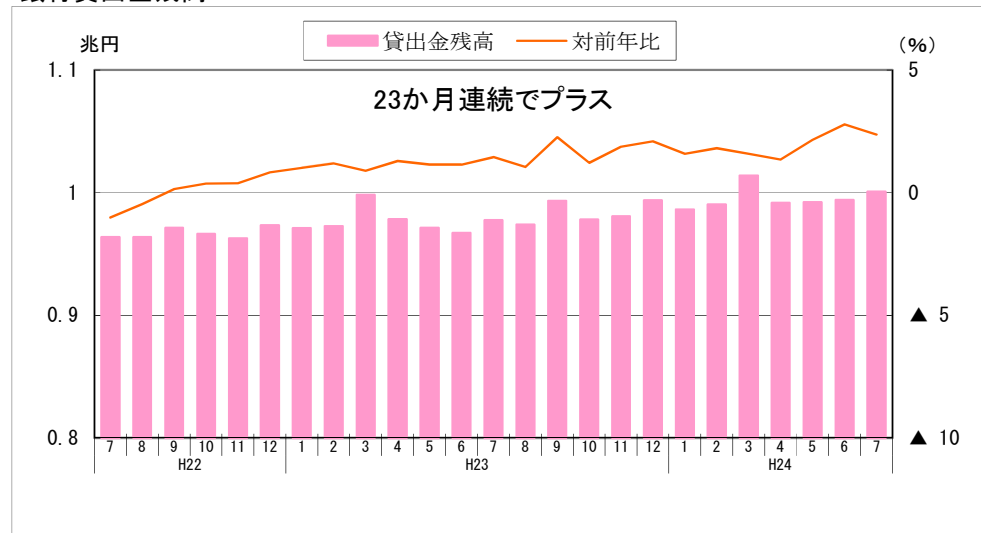
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年2.4%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

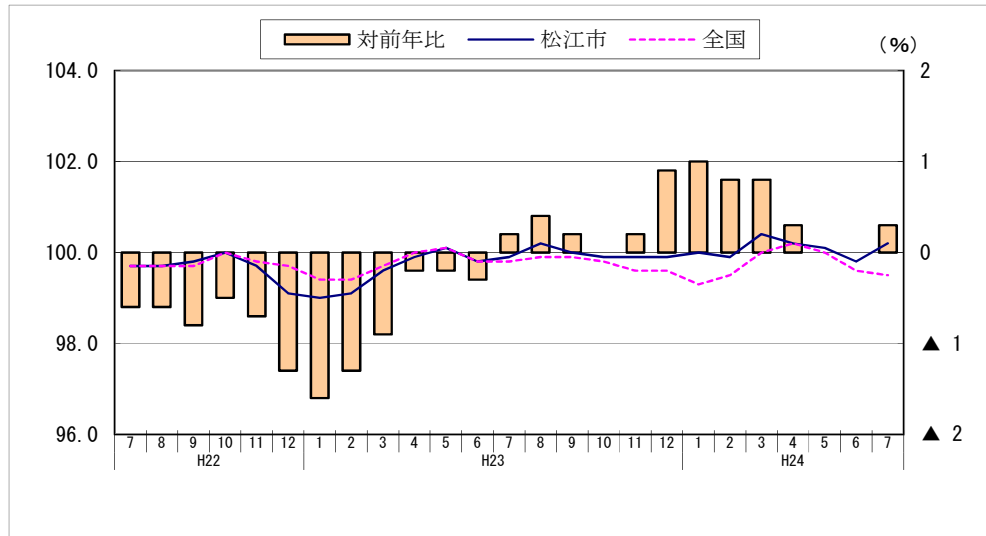


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.3%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

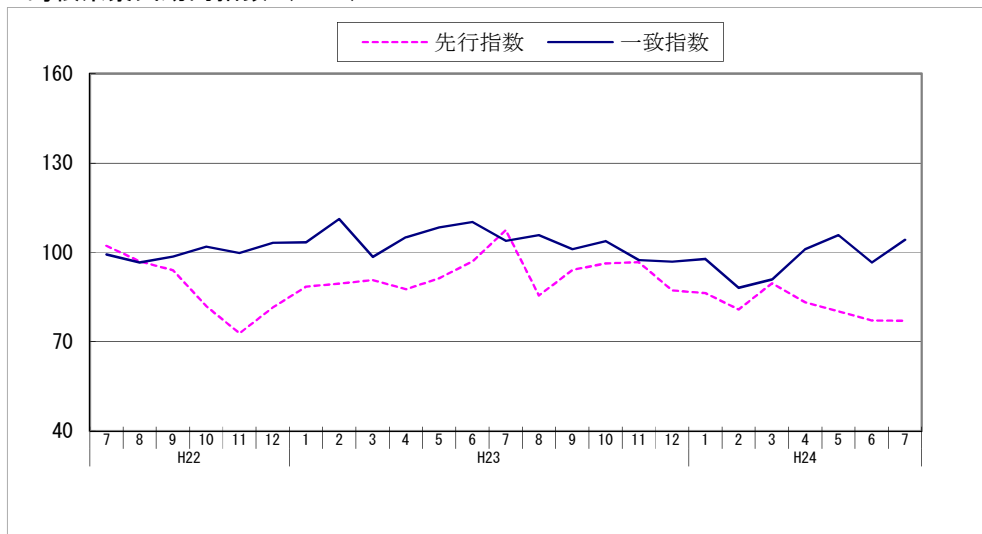
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成24年9月11日 財務省松江財務事務所)
平成24年7～9月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	24年4～6月 前回調査	24年7～9月 今回調査	24年10～12月 見 通 し	25年1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 16.7	(7.8) ▲ 13.7	(9.8) 9.8	▲ 13.7
製 造 業	▲ 20.6	(8.8) ▲ 26.5	(20.6) 8.8	▲ 11.8
非製造業	▲ 14.7	(7.4) ▲ 7.4	(4.4) 10.3	▲ 14.7
大 企 業	▲ 12.5	(▲12.5) ▲ 25.0	(0.0) ▲ 12.5	0.0
中堅企業	8.6	(17.1) ▲ 11.4	(20.0) 22.9	▲ 17.1
中小企業	▲ 32.2	(5.1) ▲ 13.6	(5.1) 5.1	▲ 13.6

※ () 書きは、前回 (24年4～6月期) 調査時の見通し。